

焼き板クラフトについて

1 事前準備

- (1) 団体 救急道具、焼き板クラフト教材（注文必要）
- (2) 個人 野外での活動に適した服装や靴、軍手、ぼろ布、（筆記用具、下絵）

2 用具の準備 ※焼き板クラフト教材（板、ひも、フック）は、職員が準備する

- (1) 野外炊飯場 板、ハンドガスバーナー、たわし、雑巾、見本
- (2) 研修室 ポスターカラー、パレット、筆、水入れ、バケツ、雑巾、新聞紙、ひも、フック、きり、見本、掃除用具、雑巾

3 板を焼く【野外炊飯場】

- (1) ハンドガスバーナーの使い方

○火の付け方

- ・ガス調整つまみを少し回し、赤いボタンを押す
- ・ガス調節つまみを時計回りに動かし、ガスを出していく

赤いボタン

○安全に使うための注意点

- ・必ず軍手を着用する
- ・バーナーの金属部分に触れない
- ・周囲の人と間隔をあげ、バーナーを他の人に絶対に向けない
- ・ガスを出し過ぎると、火の勢いが強く、火傷をする恐れがあるので注意！
- ・ガスの噴出が多い場合、火が消えることあるので注意！

ガス調整つまみ



- (2) 板を焼き、磨く

- かまどの中に板を置き、ハンドガスバーナーで焼く
- 焦がした部分をたわしで木目にそって落とす
- ぼろ布でこすって磨き上げ、光沢を出す
 - ・磨く時は、すずがかまどの中に落ちるようにする
- 野外炊飯場の片付け
 - ・集めたすずは、外の炭捨て場に捨てる
 - ・磨く時に使った雑巾を洗って、かまどの周りをふく
- 研修室へ移動する（忘れ物に注意）



4 板に絵や文字を書く【研修室】

- (1) ポスターカラーで、絵や文字を描く
 - ポスターカラーは水で薄めすぎない
- (2) 描いた絵や文字を乾燥させる
- (3) 片付け
 - 使用した道具や机を雑巾でふく



5 フックとひもを付けて完成

- (1) 左右のバランスを考えて、フックを付ける
 - ねじが入らない時は、きりで穴をあける
 - フックはデザインを描く前に付けても良い
- (2) ひもの長さを調節し、フックに結び付ける

